

今春の飼料栽培の重点

寒 高 冷 地

◎夏の省力飼育

夏の飼料の収穫運搬は総て乳牛で、放繋牧励行
そのためには放牧地の

- 1 放牧期間の延長をはかること。
 - 2 産草量を高めること。
 - 3 夏期間の収量偏差を少なくすること。
- ラデノクロバー、ニュー
ジランドホワイト、オ
ーチャード、ペレニアル
ライ、メドウフェスク、
チモシー等の混播による
密生草地の造成

◎良質乾草の多収

収穫時期の異なった混播草地を造成して、天候の災害、労力競合をさけて、余裕のある収穫で良質乾草を確保すること。

◎根菜の確保

冬乳を健康な乳牛から搾ってこそ酪農経営が安定します。乳牛1頭1冬4トンの根菜を目標に、家畜ビートは1頭当たり5㌦以上の作付を。

◎サイレージは良質高栄養のものを

夏の青草期でも喜んで食うような良質サイレージを、そして高栄養のものを、牧草は出穂始め頃の早刈りで、デントコーンは黄熟期に達したもので、根菜のトップには乾草や、糖蜜添加

牧草はまめ科いね科混播のもの

デントコーンは、実つきのよい一代雑種を

暖 地

夏枯れ、夏バテを 青刈、牧草、根菜の三段構えで乗り切ろう。

◎暑さを必要とする青刈作物

デントコーン (一回刈、分ケツなし、風我倒れやすい、アワノメイガ被害、肥沃地向、耐旱性弱、家畜嗜好良、主としてエンジレージまたは青刈用)

テオシン (4~5回刈、分ケツ多し、風につよい、アワノメイガ被害なし、肥沃地向、耐旱性中、家畜嗜好良、主として青刈用)

ソルゴー (2~3回刈、分ケツなし、風につよい、アワノメイガ被害なし、乾燥地でも良い、耐旱性強、家畜嗜好中、主として青刈及びエンジレージ)

スイートソルゴー (3~4回刈、分ケツ少、風につよい、虫害なし、乾燥地でも良い。耐旱性強、家畜嗜好良、主として青刈用)

スーダングラス (3~4回刈、分ケツ多い、風につよい、虫害なし、乾燥地で良い、耐旱性強、家畜嗜好中、主として青刈、時に乾草用)

◎夏バテ防止の根菜類

春まきかぶ、家畜ビートで初夏のツナギ飼料を

家畜も好食し、夏バテを防ぎます、この時期はなるべく根菜で飼育し、晩春から、初夏にドッサリ生産される裏作や牧草で乾草やサイレージを調製、真夏に備えましょう。

◎耐暑性牧草の栽培

真夏にグングン生育するバヒヤ、パーミュダー、ダリス、ローズグラスのいね科や、ルーサン等のまめ科牧草を栽培、夏でも牧草の生産を、更に暑さに強い品種の選定利用も今春から始めましょう。

西洋芝生(ローン)と土壤保全用牧草

○ケンタッキーブルーグラス

冷涼な気候を好み、最も作り易い代表的ローングラス。

○ベントグラス

美しい濃密なローンとなる。ゴルフ場、野球場などに用いられます。

○レッドフェスク

土地を選ばず優美で繊細な芝生となります。

○白クロバー

工場敷地や学校グラウンドなど手入れの十分行き届かないところでも美しい緑を作ります。

春早く、よく整地された庭に肥料をやり、種子をまいたら板、ローラーなどで鎮圧します。二ヵ月位で美しい緑のカーペットが出来上ります。播種量は1㌦(30坪)に1キ㌘が標準です。

宅地造成した斜面、道路の両側などには土壤保全用の牧草を播きましょう。

ケンタッキー31フェスク レッドトップ

クリーピングレッドフェスク ウィーピングラブグラス

サンドラブグラス

パーミュダグラス

バヒヤグラス

寒 高 冷 地

青 刈 作 物

作り易く、多収で

サイレージの調製も容易な

デントコーン

サイレージ用デントコーン栽培の着眼点は

○その地方で充分実つきのする品種を選ぶこと。

実の入ったものは未熟のものに較べて栄養価が倍以上です。すから分量で間に合い、労力、施設も半分で済み、サイレージの品質も良く出来、嗜好性高く、健康上も得策です。

どんな品種がこの目的に適うか。

北海道南部 TC5号(交3号と同じ)長交227号,同161号, ジャイアンツ

同 中部 ジャイアンツ, 複交8号

同 中間部 (上川, 十勝, 北見の内陸部) 複交5号, 複交7号

同 東北部 複交4号, 複交6号

○下葉の枯れない作り方をすること。

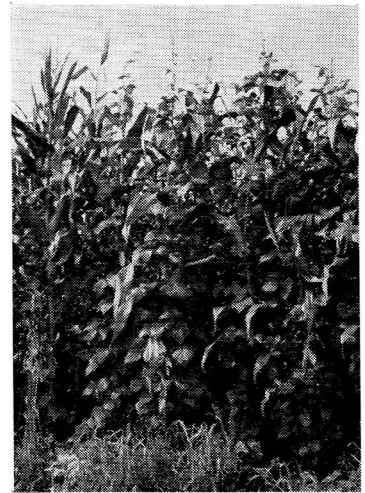
元来が蛋白質の少ない作物ですから、下葉を枯らすと一層蛋白が低くなります。そのためには1株1本立てとして、10㎡当り株数も長交系等の長稈種は3,000株(69cm×45cm) 複交系の短稈種は4,500株(69cm×30cm)程度で密播をさけ、更に途中で肥切れのないように遅効性肥料の堆肥、石灰窒素、熔りん等の施用も行ないます。

○風害も予測して

招かざる客、台風が毎年秋のデントコーンを傷めつけます。この風害を予測して、早熟、短稈の1代雑種を作付の主体品種とする考慮も必要です。



デントコーンの欠株に大葉多葉性ひまわりを



デントコーンの増収と蛋白を高めるためベキン混作

三ヵ月足らずの栽培で勝負のつく

青 刈 用 燕 麦

作り易く、多収な青刈燕麦は、利用期間の短いことや、葉が少なく栄養的に劣るという欠点がありましたが、これを改良したのが雪印の改良えん麦です。

葉が多く豊産で品種を組合せると、1ヵ月以上にもわたって高栄養、高嗜好の青刈連続給与が出来ます。

改良えんばく品種と青刈時期の関係

品種名	早青	7月	8月	特性概要
前進	△	上 中 下	上 中 下	茎葉共に巨大な多収種 分けつ旺盛、葉多く、 軟かい。多収種 施設刈り用のよく繁茂する 多収高栄養品種
太豊	△	上 中 下	上 中 下	
豊栄	△	上 中 下	上 中 下	
雪印101号	△	上 中 下	上 中 下	
品種			青刈適期	

●今年の国内産デントは品薄

御注文はお早く!!

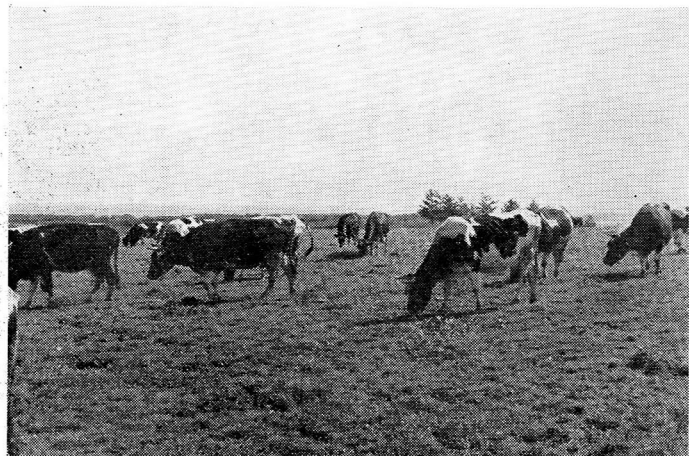
台風23号で種子生産地の被害が甚大でした。

早目に必要種子をお手当て下さい。

寒 高 冷 地

放 繋 牧 地

—緑の生産と利用期間を延長する混播が肝要—



手間がかからず、牛乳生産が上がり、そして乳牛の健康にも良い放繋牧が現在よりも半月でも1ヵ月でも延長できたらどんなに助かるでしょう。この緑の延長には草地の管理、利用は勿論大切ですが、スタートはいね科、まめ科の牧草混播です。

一般の放繋牧地には

ラデノクロバー	0.5 kg	} まめ科
ニュージーランドホワイトクロバー	0.3 kg	
オーチャード	1.0 kg	} いね科
メドウフェスタ	1.0 kg	

の混播がこれにに応じてくみましょう。

又オーチャードの冬枯れ地帯では

ラデノクロバー	0.5 kg	} まめ科
ニュージーランドホワイトクロバー	0.3 kg	
メドウフェスタ	1.0 kg	} いね科
チモン	0.5 kg	
ケンタッキーブルーグラス	0.5 kg	

の混播を試みて下さい。

◎草地の窒素肥料節約のために利用したい

白 ク ロ バ ー

混播牧草を5ト前後生産するために必要な窒素分は尿素にして50~60kgと言われております。

これを全部金肥で施すことは大変な金額になりますが、どこでも育って旺盛に広がる、しかも窒素固定力の大きな白クロバーを草地に混播しますと、窒素肥料の節約にずい分と役立ち、生産も上がります。ニュージーランドホワイトはこのためにできた品種とも言えましょう。

放牧地は勿論採草地にも是非少量(10㍍当り0.2kg)の白クロバーを混播して下さい。キットあなたの草地の緑度が変わってきます。

白クロバー品種の特性と使い方

◎ラデノクロバー

茎葉大型、再生早く多収、耐旱、耐暑性稍弱い、繊維少なく過食すると鼓脹症を起すことあり、いね科牧草を多目に混播又は併給が必要、集約草地、土壌水分の豊富なところに可。

◎白クロバー(普通種)

茎葉小型、再生力早いが収量稍少ない、繊維はラデノクロバーより多く鼓脹症の恐れ少なし。

◎ニュージーランドホワイト

茎葉中型、再生力旺盛、白クロバーより多収、乾燥に耐え、暑熱にも強い繊維分多く鼓脹症の心配なく、生存年限長く、大規模草地に好適、いね科牧草を圧倒することなくよく調和のとれた草地を維持する



放牧採草地に必ず混播したい白クロバー

◎総ての荳科牧草に

根粒菌の接種が必要

従来の寒天培養根粒菌のほか、取扱い使用が簡便で効力の高い根粒菌土(各種クロバー用)ができ新発売となりました。

◎今春も追肥、追播で

凍寒害草地の更新を

10㍍分追播用詰合種子(合計2kg)

特価 800円

寒 高 冷 地

採 草 地

——有効利用のできる混播で——

草地造成の技術も進み、管理もずいぶんよくなって、寒地でも10㍍当り生草で5㍍程度の草地が各地にみられるようになってきましたが、この草地の有効利用が伴っていないようです。せっかく作った草は一本も無駄なく家畜の腹を通して、牛乳や肉に替えなければ、草作りの意味がないわけです。

天候や労力の制約の如何にかかわらず有効に採草を行なうために今年は収かく時期の異なる混播を試みましょう。

◎早刈用混播 10㍍当り播種量 (札幌附近で5月下旬~6月上旬1番刈り)

- 赤クロババー, ペネスコット, 又は在来種, メジウム 1.0 kg
- ラデノクロババー 0.1
- オーチャード, 在来種 1.0
- メドウフェスク 0.5
- ベレニアルライ, 在来種 0.5
- ルーサン, デュビー 0.3
- 計 3.4

◎中期刈用混播 (札幌附近で6月上, 中旬)

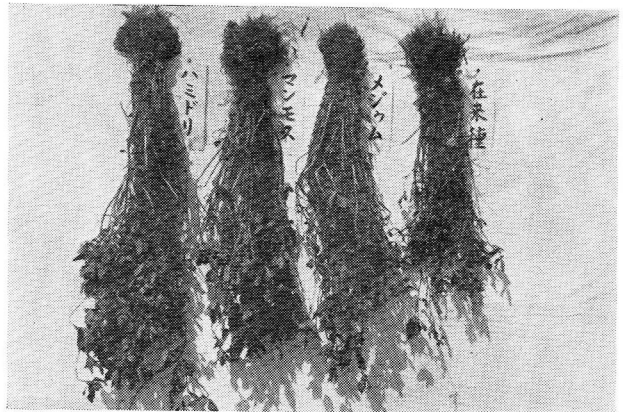
- 赤クロババー, ハミドリ又はケンランド 1.0
- オーチャード, 雪印改良種又はフロード 1.0
- チモシー, 在来種 0.5
- ベレニアルライ, マンモス 0.5
- アルサイククロババー, 在来種 0.4
- 計 3.4

◎晩期刈用混播 (札幌附近で6月中, 下旬)

- 赤クロババー, マンモス又はアルターズエーデ 1.0
- チモシー, 雪印改良種又はクライマックス 2.0
- アルサイククロババー, 四倍体 0.5
- 計 3.5

今春は、新優良品種の種子の準備が充分です。増収と有効利用に是非御利用下さい。

- ◎赤クロババー ○ハミドリ 耐病多収, 永年利用
- ◎オーチャード ○雪印改良種とフロード, 晩生多葉, 耐病多収種
- ◎チモシー ○雪印改良種とクライマックス, 稍晩生耐病, 多葉の多収種
- ◎ルーサン ○デュビー, ウィリアムスブルグとリゾーマ生育が旺盛で, 耐病多収
- ◎イタリアンライグラス ○ともにマンモスが3割内外多収の多葉種です。
- ◎メドウフェスク ○選抜系の多収, 嗜好良好
- ◎スイートクロババー ○グリーンスイート 苦味のない超多収牧草
- ◎白クロババー ○雪印ラデノとニュージーランドホワイト, 強健多収種



採草地用混播組合せ収穫適期と他作物の主要作業関係

(札幌附近を標準)

月 別	5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
早刈用	I			II			III			← 配放牧								
中刈用	I			II			III											
晩刈用	I			II			III											
水 稲	←			←			←			←			←					
大 豆	○			←			←			←			←					
甜 菜	←			←			←			←			←					
麦 類	←			←			←			←			←					
馬 鈴 薯	←			←			←			←			←					

備考 刈取期 播種 移植 中耕 薬剤散布 刈取 脱穀 除草 採取 収かく

天候と他の農作業の労力配分を考慮して無理のない時期に刈れる混播を

ハミドリと改良オーチャード個体比較



優良品種はこんなによく生育します

飼 料 用 根 菜 類

一冬一頭当り4トンの根菜を準備して

健康で冬乳の増産を図りましょう。

飼料用根菜類は手間がかかると嫌われますが、サイレージや乾草の品質が現状のように完璧でない場合の冬乳増産(夏と変らない搾乳)、乳牛の健康を考えますと、サイレージの8割程度の根菜は給与したいものです。

10㍍当り7~8トンの収かくを上げれば労力も十分償われます。今年は7~8トンの根菜どりを目標として以下の点に留意して栽培しましょう。

- 1 土地は一番肥えたところに、なるべく小面積で必要量が生産できるよう。(手間のかかる作物にはこれが必要)
- 2 適作物を選定して、道東、北地方は農期間が短く家畜ビートは無理ですからルタバガを、夏作跡地には家畜用紫丸かぶを、其他は家畜ビートで
- 3 優良品種で多収を

家畜ビート

○肥沃地で病害防除が出来れば肉質のかたい多収なハーフレッド(赤色)

○肥沃地で、特に紙筒移植で多収しようとするれば耐病性の強い晩生のMGM(桃色)

○普通地以上では、耐病性MGM(桃色)、シュガーマンゴールド(青色)

○幾分瘠地や泥炭地では、ハーフエローかパーレス(何れも橙色)

○東北地方や府県高冷地では耐病性のMGM(桃色)

ルタバガ

○肥沃地で移植を行ない大球を狙う場合、グリントップ

○直播栽培で株数を多くして、多収を狙う場合パーブルトップ

家畜かぶ

○生育期間が100日以内の短い時、改良紫丸かぶ

○生育期間を120日以上とれる場合、小岩井かぶ

- 4 耐病性や貯蔵性の高い品種で手間を省き、貯蔵損耗を少なく

○薬剤散布の労力を幾分でも少なくするために

家畜ビートではMGMや早生系のBGBをルタバガではグリントップ

○貯蔵中の損耗は推定20%といわれています。

家畜ビートではMGM、ハーフレッド等は貯蔵大

- 5 労力配分を適切にし、4~5割増収のできる家畜ビートの紙筒移植も一部実施してみましょう。

(作り方の詳細を明記した、紙筒(ペーパーポット)販売中10㍍当り5冊)

改良紫丸かぶの夏利用

寒高冷地の一番牧草の収かく後や、青刈えん麦刈取後に一時青草の不足をきたしますが、この時期にちょうど収かく期を迎えるのが、早春まきの改良紫丸かぶです。作り易く、収量も多く乳牛一頭当り2㍍の作付で半月間は給与できます。

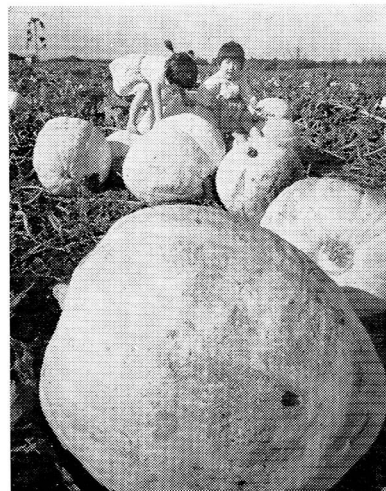


収かくの始つた家畜ビートの広い圃場

秋のツナギ飼料に

ポ ン キ ン を...

9月、10月は放牧地の草も少なく、栄養価も低下します。サイレージの給与もまだです。しかもやがては冬の不健康の舎飼いです。この時期に多汁質で乳もよく出、ビタミンの多い健康飼料ポンキンを



種子を
購入する
コツ

種子は周到に、しかも良い種子を購入しなければなりません。良い種子と

は、次の諸点を含んでおります。

1 遺伝形質の同一性が、はっきり保証されていること(作物、品種の特性を維持するための隔離栽培など特別な管理を行なったもの)

2 発芽率の良いもの

3 純度が高いもの(雑草、他作物、もみから、泥などの混入が少ないもの)

このような種子をアメリカでは「保証種子」と称し、常に品質が保証され、生産力が高く安心して利用できるようになっています。

わずかの値差で安い種子を買いますと、発芽が悪かったり、雑草の混入が多かったり、特性が変わって病害に弱かったり、収量が少なかったり、大変な損をされます。種子代の100円、200円を惜しんではいけません。1割の増収で12分に補いがつきます。